

平らな洋皿の仕上げ

こんな大きなものの削りは普通はシツタを使いますが、真ん中が落ちて凹まなければそれでよいので、ちょうど小さなスポンジを真ん中に置くとほぼ丁度良いです。

好きな図柄や絵を描いて楽しいお皿に仕上げましょう。
サンプルは、以前やろうとしたルート・ブリュックの絵を写しています。

①



カメ板の中央にスポンジを置き、その上に作品を伏せておきます。
中心に据えられたら、小さく3点で止めます。
削りは、真ん中を支える二重高台が良いとおもいます。

②



元々のタタラの厚さが8ミリでしたので、削るとしても2ミリほどで充分です。
最初に全体に溝をつけ、その溝を削り取っていくようにやると、ほぼ5分ほどで終わります。
くれぐれも削りすぎてはいけません。
周りもいい感じに削りましょう

③



お好みの絵や図柄をちょうどよい大きさにコピーして、作品の上に置き、輪郭を鉛筆で軽くなぞります。強くなぞると、凹みすぎるかも。
鉛筆の跡が残るので、そこを針か先のとがった竹串でなぞります。素焼き後、下絵具を埋めます。

④



黒化粧をします。
ろくろの中心に置いて、筆で黒化粧を塗ります
触れるほどに乾いたら、図柄を置いて鉛筆で絵の輪郭をなぞります。
うっすら凹んでいる輪郭を彫刻刀か竹串で黒化粧を掻き落として、白く抜いていきます。